

第137回 岐阜市管内景況調査報告書(平成26年7～9月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成26年7～9月、平成26年10～12月期の見通し(平成26年9月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪及び郵送
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業**440**社(回答数**265**社、回収率**60.2%**)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成26年7～9月期)の管内中小企業の景況を見ると、悪化傾向に転じている。前期と比べマイナス幅が拡大した。内需の低迷や仕入価格の上昇などの影響が窺える。来期(平成26年10～12月期)の景況予想についてみると、引き続き大幅なマイナス(△28.7)となると見込まれる。

全業種

(前年同期比)

	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
25年7～9実績	△27.3	△20.5	△22.0	△32.5	△19.2	3.1
10～12実績	△23.1	△33.3	△13.7	△33.8	△16.0	△4.3
26年1～3実績	△23.3	△23.0	△10.9	△30.1	△17.4	△4.6
4～6実績	△17.3	△15.9	△12.8	△19.2	△14.9	△5.1
7～9実績	△25.0	△22.2	△14.5	△26.9	△14.8	△3.3
10～12予想	△28.7	△24.7	△8.6	△32.3	△24.6	△0.6

1. 業況

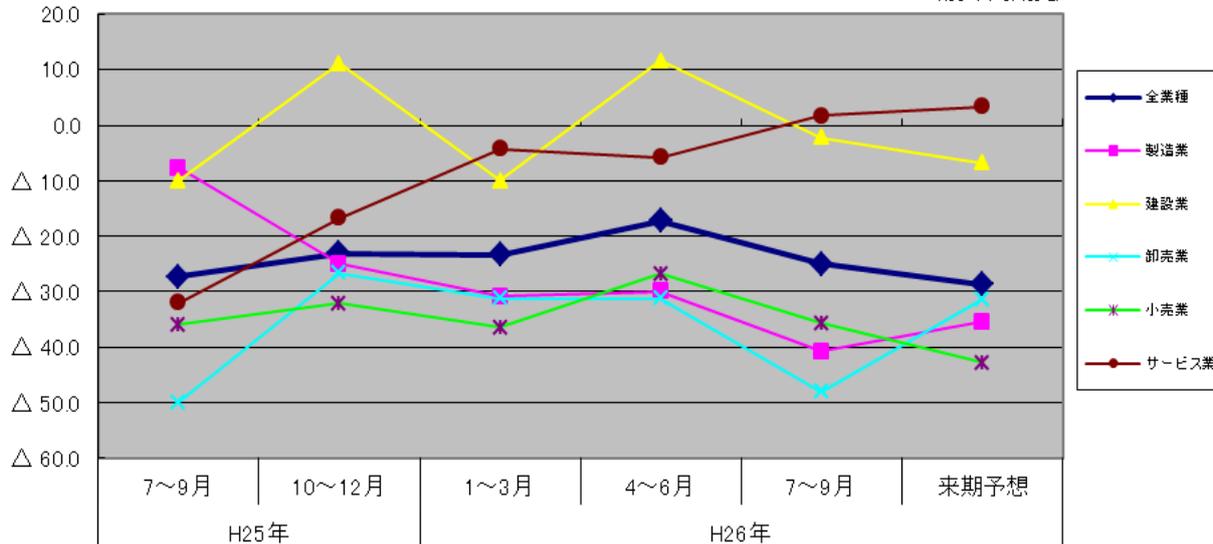
全業種のDI値は、△25.0と前期(△17.3)に比べると8ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別でみると、サービス業(1.7)は回復がみられるが、製造業、建設業、卸売業、小売業は、いずれも大幅に悪化している。

	業況判断DI(「好転」－「悪化」)				(前年同期比)	
	H25年 7～9月	10～12月	H26年 1～3月	4～6月	7～9月	来期予想
全業種	△27.3	△23.1	△23.3	△17.3	△25.0	△28.7
製造業	△7.7	△25.0	△30.8	△30.0	△40.8	△35.4
建設業	△10.0	11.1	△10.0	11.6	△2.2	△6.8
卸売業	△50.0	△26.6	△31.2	△31.3	△48.1	△31.4
小売業	△36.0	△32.1	△36.4	△26.8	△35.7	△42.9
サービス業	△32.0	△16.7	△4.2	△5.8	1.7	3.4

業況判断DIの動向(好転－悪化)

(前年同期比)

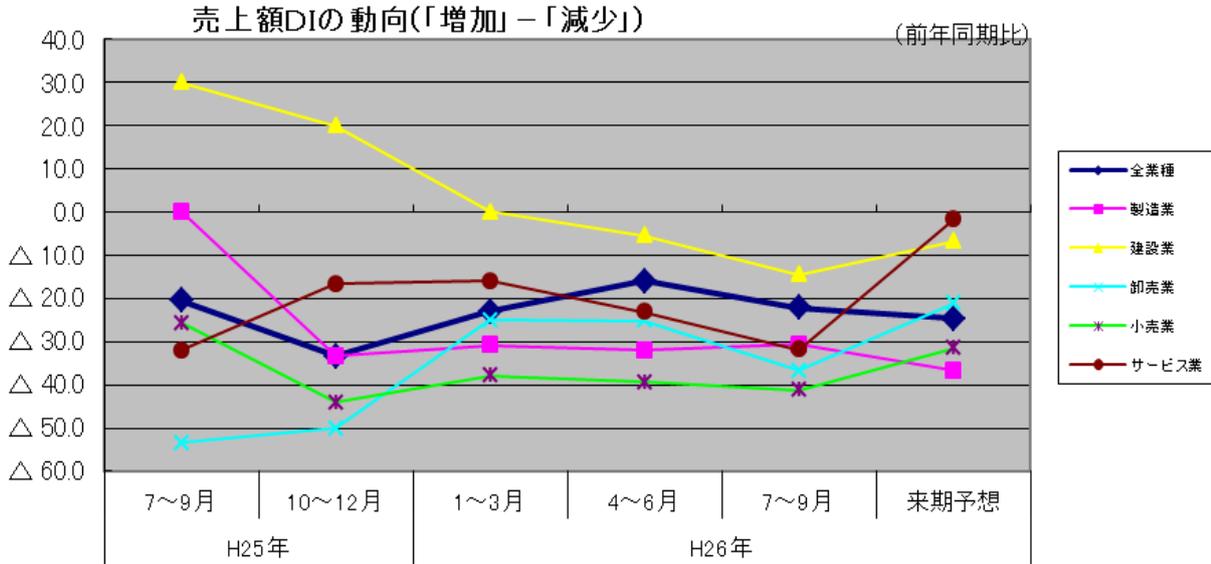


2. 売上(加工)額

全業種のDI値は、△22.2と前期(△15.9)に比べ6.3ポイント減少した。来期も若干悪化の見通し。

業種別では製造業がやや改善したが、その他の業種は減少し、特に卸売業とサービス業、小売業の減少が著しい。来期は建設業とサービス業で改善の見込み。

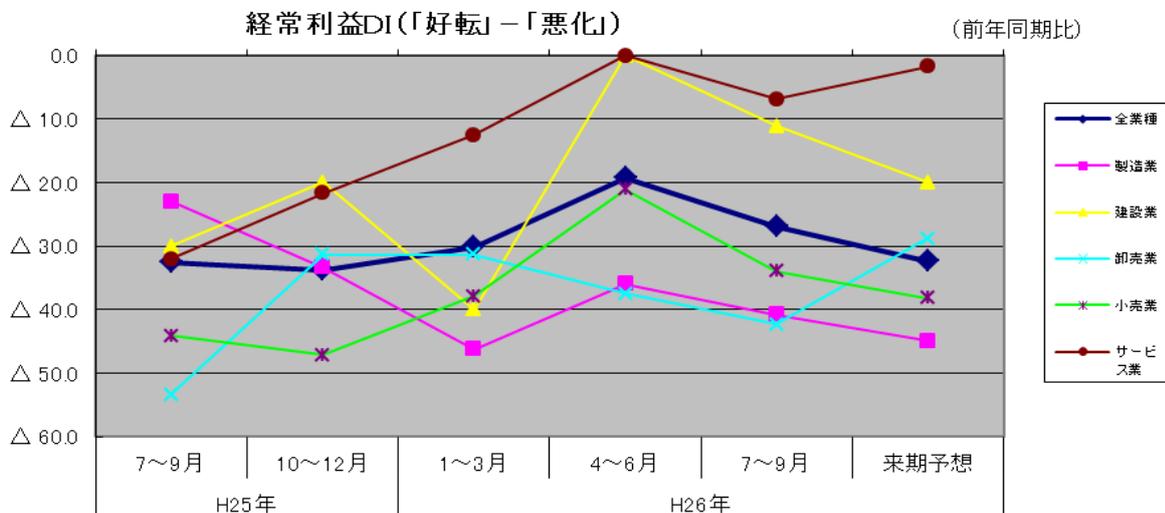
	売上額DI(「増加」-「減少」)			(前年同期比)		
	H25年 7~9月	10~12月	H26年 1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△ 20.5	△ 33.3	△ 23.0	△ 15.9	△ 22.2	△ 24.7
製造業	0.0	△ 33.3	△ 30.8	△ 32.0	△ 30.6	△ 36.7
建設業	30.0	20.0	0.0	△ 5.4	△ 14.5	△ 6.8
卸売業	△ 53.4	△ 50.0	△ 25.0	△ 25.1	△ 36.6	△ 21.2
小売業	△ 25.7	△ 44.1	△ 37.9	△ 39.5	△ 41.2	△ 31.6
サービス業	△ 32.0	△ 16.6	△ 16.0	△ 23.2	△ 31.9	△ 1.7



3. 採算(経常利益)

全業種のDI値は、△26.9と前期(△19.2)に比べ7.7ポイント悪化した。全業種においてマイナス値の拡大がみられる。来期は、卸売業、サービス業で改善される見通し。その他の業種では引き続き悪化傾向。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)			(前年同期比)		
	H25年 7~9月	10~12月	H26年 1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△ 32.5	△ 33.8	△ 30.1	△ 19.2	△ 26.9	△ 32.3
製造業	△ 23.0	△ 33.3	△ 46.2	△ 36.0	△ 40.8	△ 44.9
建設業	△ 30.0	△ 20.0	△ 40.0	0.0	△ 11.1	△ 20.0
卸売業	△ 53.4	△ 31.3	△ 31.3	△ 37.5	△ 42.3	△ 28.8
小売業	△ 44.1	△ 47.1	△ 37.9	△ 21.1	△ 33.9	△ 38.2
サービス業	△ 32.0	△ 21.7	△ 12.5	0.0	△ 6.9	△ 1.7



4. 製品・商品の在庫

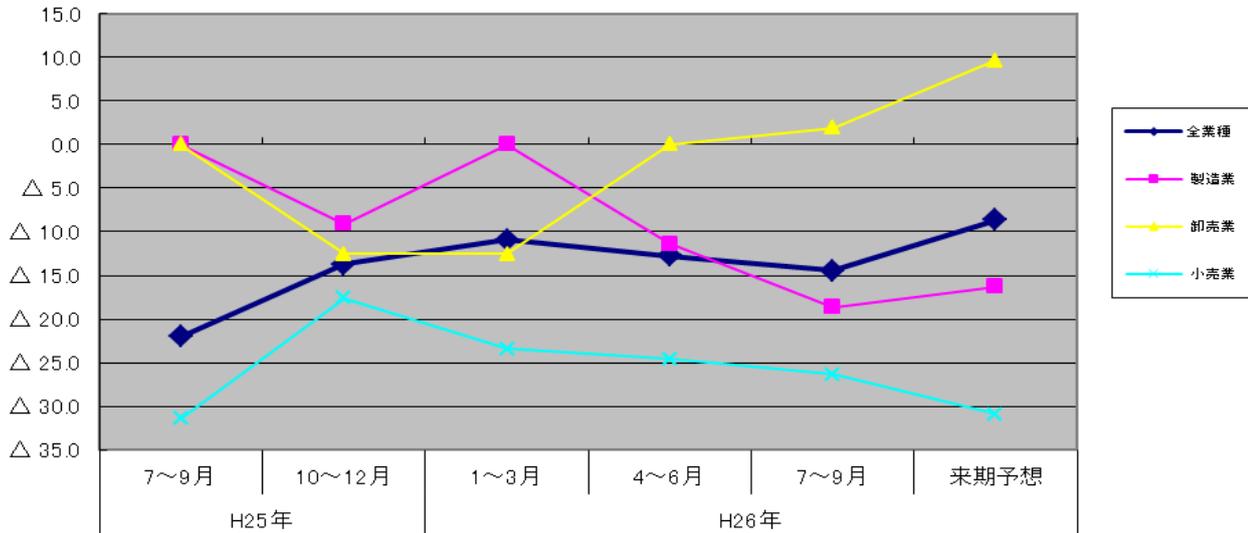
全業種の DI 値は、△14.5前期(△12.8)に比べマイナス幅が1.7ポイント拡大した。

来期は小売業では△30.9とさらに減少。卸売業は引き続き増加傾向のほか、製造業はマイナス値が△16.3とやや回復する見通し。

	在庫判断DI (「過剰」-「不足」)				(前年同期比)	
	H25年		H26年		7~9月	来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△ 22.0	△ 13.7	△ 10.9	△ 12.8	△ 14.5	△ 8.6
製造業	0.0	△ 9.1	0.0	△ 11.4	△ 18.6	△ 16.3
卸売業	0.0	△ 12.5	△ 12.5	0.0	1.9	9.6
小売業	△ 31.4	△ 17.6	△ 23.4	△ 24.6	△ 26.3	△ 30.9

在庫判断DI(「増加」-「減少」)

(前年同期比)



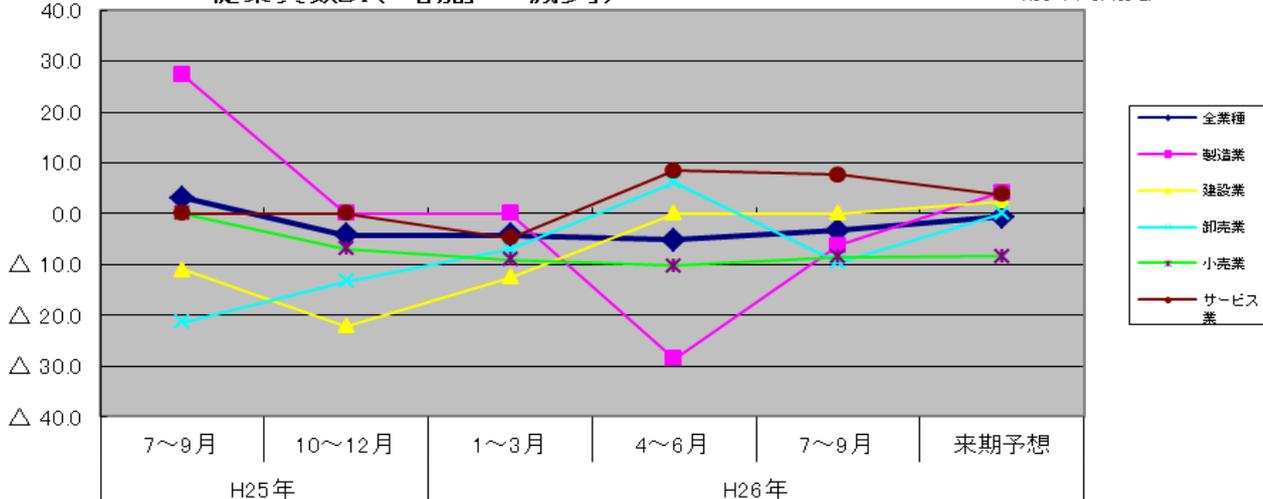
5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△3.3と前期(△5.1)に比べマイナス幅が1.8ポイント縮小した。来期はさらに縮小の見通し。業種別では、製造業(△6.3)、小売業(△8.5)で改善。建設業は(0.0)は横ばい。サービス業(7.7)では従業員の増加傾向が続いている。卸売業では△9.6と減少。

	従業員数DI (「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H25年		H26年		7~9月	来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	3.1	△ 4.3	△ 4.3	△ 5.1	△ 3.3	△ 0.6
製造業	27.3	0.0	0.0	△ 28.6	△ 6.3	4.2
建設業	△ 11.1	△ 22.2	△ 12.5	0.0	0.0	2.4
卸売業	△ 21.4	△ 13.3	△ 7.1	6.3	△ 9.6	0.0
小売業	0.0	△ 6.9	△ 9.1	△ 10.2	△ 8.5	△ 8.3
サービス業	0.0	0.0	△ 4.8	8.5	7.7	3.8

従業員数DI(「増加」-「減少」)

(前年同期比)

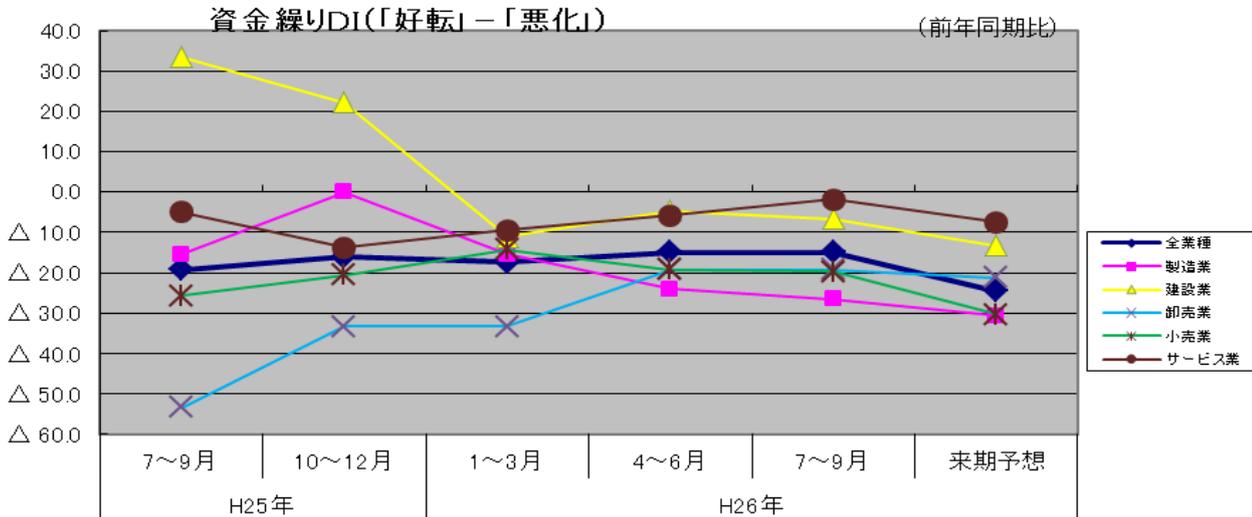


6. 資金繰り

全業種の DI 値は、△14.8と前期(△14.9)と比べほぼ横ばいとなった。

業種別ではサービス業で△1.9と回復。製造業・建設業では若干の悪化が見られるが、卸売業・小売業はほぼ横ばいとなった。

	資金繰りDI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H25年		H26年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△ 19.2	△ 16.0	△ 17.4	△ 14.9	△ 14.8	△ 24.6
製造業	△ 15.4	0.0	△ 15.4	△ 24.0	△ 26.5	△ 30.6
建設業	33.4	22.2	△ 11.1	△ 4.7	△ 6.7	△ 13.3
卸売業	△ 53.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 19.1	△ 19.2	△ 21.2
小売業	△ 25.7	△ 20.6	△ 14.3	△ 19.3	△ 19.6	△ 30.4
サービス業	△ 5.0	△ 13.7	△ 9.5	△ 5.8	△ 1.9	△ 7.4



7. 経営上の問題点

建設業以外の業種で需要の停滞が上位を占めたが製造業・卸売業・小売業で「販売単価の低下や上昇難」の一方で「原材料の上昇」、「仕入単価の上昇」が経営上の問題点との回答が続き、消費税増税の影響が窺える。小売業・サービス業では「消費者ニーズ変化への対応」、建設業では「従業員・熟練技術者の確保難」が経営課題であるとの回答が多い。

上段:今回 下段:前回

	今期直面している経営上の問題点				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	需要の停滞	製品(加工)単価の低下・上昇難	原材料価格の上昇	製品ニーズの変化への対応	人件費の増加
	18.4	16.8	15.2	7.2	7.2
建設業	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	材料価格の上昇	請負単価の低下・上昇難	下請業者の確保難
	12.6	11.8	10.9	10.1	9.2
卸売業	需要の停滞	仕入単価の上昇	販売単価の低下・上昇難	従業員の確保難	店舗・倉庫の狭隘・老朽化
	24.4	19.8	15.3	6.1	4.6
小売業	需要の停滞	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	販売単価の低下・上昇難	購買力の他地域への流出
	13.6	12.9	11.0	9.5	9.5
サービス業	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難
	15.9	14.4	11.4	9.8	9.8
	20.7	21.1	6.8	9.2	4.0